

生き生き にこにこ

国津っ子

平成21年4月18日 第2号

名張市立国津小学校通信

生き生き にこにこ 国津っ子

子どもたちの教育目標ですが、私たち職員も生き生きとし、にこにこしながら子どもたちにかかわっていきたいと思います。名張市内どこからでも通える学校（特認校）として、国津のよさを教育として子どもたちに提供することが使命です。がんばります。

こんな子ども像をめざします

進んで取り組む子



仲良くできる子



素直で明るい子

学校大好き、友だち大好き、勉強楽しい・・・そんな気持ちが持てるよう私たちも精一杯努力し実現させていきたい。そのためにも、保護者の方々と教職員が分かり合い、なんでも相談できる関係になることだと思います。遠慮なく声を届けてください。お願いします。

よろしくお願ひします

平成21年度スタッフ紹介

| | | | |
|--------|---|--------|--------|
| 校長 | 雪岡 正明 | 教頭 | 宮崎 寿真子 |
| 1年担任 | 松村 基子 | 2年担任 | 岩崎 学 |
| 3・4年担任 | 福廣 真士 | 5・6年担任 | 森川 郁代 |
| 養護 | 竹岡 泉 | 事務 | 波当根 隆司 |
| 調理 | 芝田 節子 | 校務 | 山中 ふさ子 |
| (育児休業) | 教諭 村田瑞帆・養護教諭 | | 布生裕子) |
| 学校医 | 加藤 正彦 | 学校歯科医 | 松本 博司 |
| 学校薬剤師 | 赤井 佐和子 | | |
| 学校評議員 | 藪井 喜巳様(神屋)北畑 維久子様(布生) 世古口 緑様(国津園)福田 尚子様(つじ) | | |

【学年別児童数】

| 学年 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 合計 |
|------|----|---|----|---|----|---|----|
| 男 | 3 | 7 | 3 | 3 | 2 | 2 | 20 |
| 女 | 7 | 2 | 2 | 2 | 2 | 4 | 19 |
| 計 | 10 | 9 | 5 | 5 | 4 | 6 | 39 |
| 学級人数 | 10 | 9 | 10 | | 10 | | 39 |

【地域別児童数】

| | 奈垣 | 神屋 | 羽根 | 吉原 | 百々 | 布生上 | 布生下 | つつじ | 夏見 | 百合丘 | 美旗 | 瀬古口 | 桔梗丘 | 青蓮寺 | 計 |
|---|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-----|----|-----|-----|-----|----|
| 男 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 9 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 0 | 20 |
| 女 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 6 | 0 | 3 | 0 | 1 | 1 | 1 | 19 |
| 計 | 2 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 15 | 2 | 6 | 1 | 2 | 3 | 1 | 39 |

平成21年度国津小学校の学校教育目標

<目指す学校像>

子ども・保護者が満足する学校

<学校教育目標>

生き生き にこにこ 国津っ子

<めざす子ども像>

- ・進んで取り組む子 (自主性、積極性、実行力)
- ・仲よくできる子 (思いやり、協力、信頼、人権尊重)
- ・素直で明るい子 (明朗、誠実、健康)

<重点目標>

経 営

- ◎児童・教職員・保護者、相互の心のふれあいを深め、明るく生き生きとした温かく楽しい学校経営・学級経営に努める。その結果、児童・保護者が学校に行きたいと思う、教職員とつながろうと考える割合が80%になることをめざす。
- ◎地域・家庭との連携を深め、特認校として特色のある学校づくりをいっそう推進し、本校の取り組みを人に紹介したい、自慢できるという人の割合が80%をめざす。その方策として地域の教育力を毎学期学年に応じて活用し、地域の「ひと・もの・こと」を生かした、特色ある教育活動を創造する。

指 導

- ◎平成20年度に実施した児童・保護者アンケートの結果、「悩みや相談に親身に対応すること」、「わかる授業を創造すること」が弱みとなっている。どの学級でも80%の満足度をめざす。そのための具体的な手立てとして
- ・一人ひとりの職員が、複式授業についての研修を先進校に学びながら工夫し、教材研究を深めるとともに、校内での授業研究を活発にする。
- ・子ども一人ひとりを見つめ、主観に頼らず、肯定的に受け止めることを基本に、保護者と協働して、子どものために必要なことを相互交流する。



具体的な取り組み

地域の「ひと・もの・こと」を活かし、少人数ならではの教育を基本に、本校の指導の柱を○、昨年度末の課題に対する取り組みを■とします。

○一人ひとりを生かす授業・わかる授業に努めます。

- ・個に応じて普通の授業、複式の授業をきめ細やかな指導により進めます。
- ・水曜日5時間目「いきいきタイム」で、算数の弱点克服、発展学習を、個々の課題に応じて取り組みます。

○読書の時間を大切にします。

- ・ひき続き、火木に朝の読書の時間を位置づけます。

○主体性を育てる活動の充実を図ります。

- ・複式授業の中で、自分たちで自立的に学習できる力を育成します。
- ・地域の素材を活かした学習や児童会活動、学校行事で主体性を培っていき、修学旅行やキャンプが子どもたちの力を発揮する場とします。

○コミュニケーション力を育成します。

- ・ライフスキル学習に系統的、継続的に取り組みます。
- ・学級集団づくりを更に大切にしていきます。

■教師と保護者の意思疎通をさらに大切にします。

- ・お会いしたときには今まで以上に積極的に子どもの様子を伝え、家庭での様子も聞かせていただき、連携を強めます。
- ・「子ども・保護者アンケート」を元に、取り組みの改善につなげます。

■子どもの心を深くつかみ、親身な対応に努めます。

- ・全職員で一人ひとりの子どもの心をつかみ、安心できる学校づくりを進めます。